

紬織物の試作研究

塚原 文男* 遠井

光子**

1. 緒 言

近年、消費者の生活様式の変化や着物離れ等により小幅織物の需要が減少し、各産地とも低迷を余儀なくされている。

着物のフォーマル化の流れの中で、カジュアル着物である結城紬は年々減少を続け、厳しい状況におかれている。産地としても需要回復のため、消費者動向にマッチしたオリジナル商品、セミフォーマル商品等開発に努めている。

農水省蚕糸・昆虫農業技術研究所が洋装需要向けに開発した絹新素材の中で、ネットローシルク、スパンローシルクは上繭から作られる網状生糸であることから嵩高性と伸縮性に富んでいる。

当所では、従来よりこれらの素材の特性を生かし、紬織物への利用法を考えている。昨年度はスパンローシルクを主体に試作をしたので、本年度はネットローシルクを主体とした着尺地1点、洋服地4点を試作したので報告する。

2. 試作内容

2.1 絹新素材の紬織物(着尺地)

(1) 糸使い

経糸... ネットローシルク 200D×生糸 27D,
622T/M, Sカバーリング

緯糸... ネットローシルク 250D

(2) 組織... 平織

(3) 密度・・・120×85本/鯨寸間

(4) 織機... 高橋式小幅力織機

2.2 絹新素材の紬織物(洋服地A)

(1) 糸使い

経糸... ネットローシルク 200D

緯糸... ネットローシルク 250D

(2) 組織... 平織及び斜文織

(3) 密度・・・120×85本/鯨寸間

(4) 織機... 小幅高機織機

2.3 絹新素材の紬織物(洋服地B)

(1) 糸使い

経糸... ネットローシルク 200D×生糸 27D,
622T/M, Sカバーリング生糸 147D

緯糸... ネットローシルク 250D

真綿手紡糸 160D

(2) 組織... 平織

(3) 密度・・・120×90本/鯨寸間

(4) 織機... 高橋式小幅力織機

2.4 絹新素材の紬織物(洋服地C)

(1) 糸使い

経糸... 生糸 147D

真綿GS手紡糸 100D×生糸 27Dク口

ス

カバーリング

綿糸... スパンローシルク 250D

(2) 組織... 平織

(3) 密度・・・110×70本/鯨寸間

*繊維1:業指導所 **繊維工業指導所

(4) 織機... 高橋式小幅力織機

2.5 絹新素材の紬織物(洋服地D)

(1) 糸使い

経糸... ネットローシルク 200D×生糸 27D,
522T/M, GSカバーリング

緯糸... ネットローシルク 250D

(2) 組織... 平織

(3) 密度・・・120×85本/鯨寸間

(4) 織機... 小幅高機織機

3. 結 果

3.1 絹新素材の紬織物(着尺地)

絹新素材ネットローシルクは精練すると真綿状となり、織度差が小さく、嵩高性がある。この特徴を生かしながら、経糸に使用するため撚糸加工試験を行い、毛羽立ちを少なくし、製織を可能にした。

ネットローシルクの嵩高性を生かしたので、紬織物(着尺地)を高級化することができた。

3.2 絹新素材の紬織物(洋服地A)

絹新素材ネットローシルクは嵩高性があるので、撚糸加工をしないで経糸に使用して、高機織機により試織した。しかし、毛羽が多く発生し製織が困難であった。素材の持っている嵩高性を生かすため、別の試織方法について検討中である。

3.3 絹新素材の紬織物(洋服地B)

ネットローシルクを撚糸加工して、生糸と共に経糸に使用した。緯糸にネットローシルクと真綿手紡糸を併用して、紬服地織物を試織した。

その結果、ネットローシルクの嵩高性と真綿手紡糸の節を生かすことができたので、紬服地織物の高級化が可能になった。

3.4 絹新素材の紬織物(洋服地C)

経糸に生糸及び真綿GS手紡糸を使用し、1羽に4本入れにして厚地の紬洋服地を目標とした。

そして、緯糸にはスパンローシルクの大織度を使用した。真綿GS手紡糸とスパンローシルクの嵩高性を生かした厚地の紬洋服地を試作することができた。

3.5 絹新素材の紬織物(洋服地)

ネットローシルクの撚糸加工試験を行い、それを経糸に使用し、緯糸には撚糸加工しないネットローシルクを使用して試織した。

ネットローシルクの嵩高性を生かした紬織物の試作により、紬服地の高級化を図ることができた。

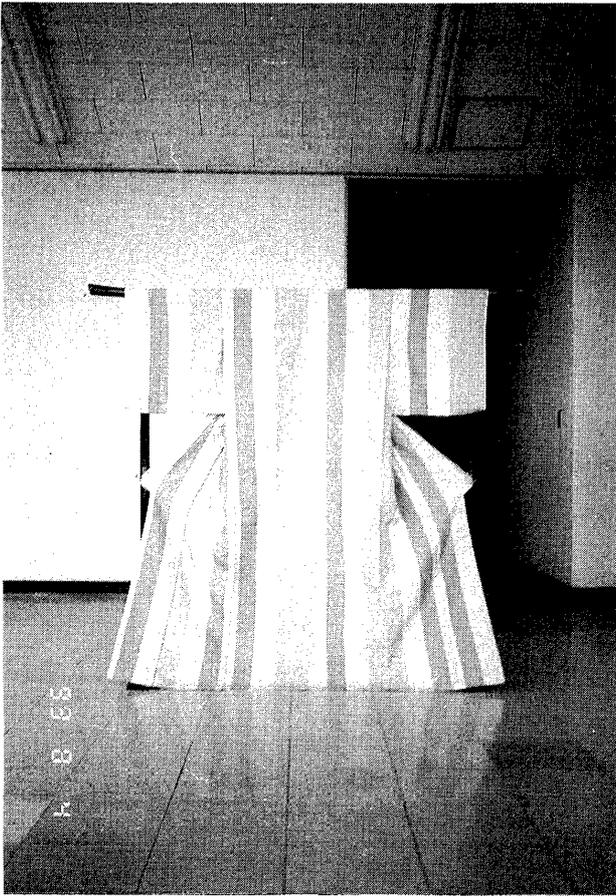


図 1 絹新素材の紬着



図 2 絹新素材ブレザ